

議 事 録

会 議 名	令和6年第1回名東警察署協議会（定例会）
日 時 ・ 場 所	令和6年2月29日（木） 午後2時30分から午後3時45分までの間 ----- 機動隊講堂
出 席 者	<p>1 委員 寺田 信 会長 伊勢 秀明 委員 鈴木 宏光 委員 松下 睦美 委員 大塚えり子 副会長 太田 英樹 委員 長谷川曜子 委員 以上7名（定数10名）</p> <p>-----</p> <p>2 警察署員 花木署長 早瀬交通課長 岡本警務課長 正木警備課長 以上4名</p> <p>-----</p> <p>3 有識者等 なし</p>
諮 問 事 項 等	「大規模地震発災時に警察力を発揮するために」について
答 申 等 の 概 要	<p>1 名東区内で考えうる被害を想定し、必要な資機材や備蓄等を準備し災害に備えてほしい。</p> <p>2 災害時に必要な情報を集め、多くの方に発信するための広報活動の強化</p>
そ の 他	機動隊において災害警備訓練の視察を実施した。 次回開催予定 令和6年5月頃

会議の経過及び発言の要旨	
1	委嘱状の交付
	署長から、再任委員及び新委員に対し公安委員会からの委嘱状を伝達した。
2	会長等の選任
	委員の互選により寺田信委員が会長に選任され、寺田会長が大塚えり子委員を職務代行の副会長に指名した。
3	会長等挨拶
4	署長挨拶等
5	速度等取締指針についての説明
6	前回の答申に対する具体的施策の推進状況
	(1) 諮問事項
	高齢者の交通事故防止
	(2) 答申事項
	ア 高齢者に伝わりやすい手段・方法による広報
	～社会全体で防止するため幅広い世代への広報活動の充実～
	イ 道路管理者等と連携した交通環境の整備
	(3) 推進施策（交通課長説明）
	ア 答申事項アについて
	(ア) 管内衣料品店等における明るい服装推奨キャンペーンの実施
	(イ) 親しみやすい手段による広報の実施
	・ 当署交通課員（落語経験者）による交通安全落語
	・ やぎ（め～とう警察署長）による広報
	(ウ) 高齢者の集まる喫茶店等での広報活動や高齢者世帯を個別訪問し、
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
免許証の自主返納制度説明や交通安全ミニ広報を実施	
(I) 参加体験型広報イベントの実施	
・ VR（バーチャルリアリティ）シミュレータ体験及び簡易視	
力検査の実施	
・ 歩行シミュレータ・反射スコープライト体験の実施	
(オ) 幅広い世代への広報啓発活動の実施	
・ 幼稚園での交通安全教室、幼稚園児による交通安全絵馬の作成	
・ 高校生による自転車ヘルメット着用キャンペーン、ヘルメット	
着用動画の作成	
・ ショッピングセンターでの広報活動、企業等に対する交通安全	
講話	
イ 答申事項イについて	
(ア) 横断歩行者等対策	
・ スムーズ横断歩道の設置	
・ トライライトポストの設置	
(イ) 速度抑制対策	
道路上にポストコーンを設置	
7 諮問	
(1) 諮問事項	
「大規模地震発災時に警察力を発揮するために」について	
(2) 諮問事項の設定理由（警備課長説明）	
本年1月1日、石川県能登地方で発生した能登半島地震が発生し、多く	
記録者	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
の建物が倒壊し、死傷者が多数出るなど甚大な被害が発生した。	
近い将来発生するといわれている南海トラフ巨大地震では、最大で死者32万人余りと東日本大震災の約17倍の死者数となると予想されている。	
そこで、大規模地震発災時に警察力を発揮するために、地域住民が警察に求めるものを把握するとともに、警察力を維持し災害発生時に関係機関と連携して地域住民の協力を得た災害対策を行っていくにはどのような方が必要なのか委員の皆様の様々な御意見をお願いしたい。	
8 協議	
委員	・ 名東区の1割くらいの方は転勤族で、近所にどのような人が住んでいるのか把握していない方が多いのではないかと思います。
	近所の家族が何人で暮らしているのか分かるようになっていけば有事の際に救助しやすいと思う。警察からも家族構成など把握し、災害があったときにすぐ助けられるように広報すると良いのではないかと。
委員	・ この議題は以前にもあったが、そのとき一番言われたのが火事場泥棒に迅速に対処する等があった。
	今回は、ライフラインの確保を重要視している。警察署や交番に太陽光発電や蓄電池を配備し、停電時に情報発信できる仕組みを整えたり、地域住民のスマートフォン等の電源とすることやドローンの活用も検討すると良いと思った。
委員	・ 私は、地元で生まれ育ち近所の方とは顔なじみであるが、新築マンション居住者等の新規転入者とは、関わりがないことが多いよう
	記録者 警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
に感じている。	
私が大事にしていることは、母の教えとして災害が発生した際、	
家族が学校へ行くなどの外出時に集合場所等の取決めをしていたこ	
とである。各々が家族の中でそのような会話を常にしていることが	
大切である。	
またSNSが普及していることから、避難経路や被災状況等をS	
NSで発信するといろいろな状況が把握できるのではないかと思う。	
委員	・ 名東区は、本当に通勤族が多く人の入れ替わりも多い。
何かあったときに警察は、様々な活動をしなければならないこと	
から、学校や地域住民に備えに対する啓発活動が重要である。	
また災害発生時は、自分の身は自分で守ることや周りの方々に助	
けあうことも大事である。	
委員	・ 大規模地震の発生を想像することは難しい。南海トラフ地震の被
害予想では、名古屋市全体で6,700人死亡で名東区は20人というのは、	
名東区はかなり少なく見積もっていると思う。	
実際起きてみないと分からないが、情報収集活動に重点をおく必	
要があり、市民に対し想定をもっと具体的に、情報提供してほしい。	
ドローンを使うなどして収集した情報等を積極的に情報発信すると	
良いと思う。	
委員	・ 今までの大きな災害でニュースを見ていると自力で脱出したとか
近所の人に助けられたなど自助共助で命が助かった方も多く救助活	
動による救命は意外と少ないように感じる。	
	記録者 警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
本日、機動隊で警察力の一端を見せて貰い良い経験になった。	
<ul style="list-style-type: none"> この警察の救援部隊を必要とする人や場所にどうやって伝えるか。 	
<ul style="list-style-type: none"> どのようにして援助を求めるのか 	
<ul style="list-style-type: none"> 被害が殺到しているときに110番通報で良いのか、どのように電話をすれば良いのか 	
等について知りたい。	
委員	<ul style="list-style-type: none"> まだ災害が発生していないこの段階で私たちが知っておくべきことをもう少し上手に情報発信できたら良いのではないかと思う。
	また名東区に危険な箇所があるのであれば、事前に対策する等備えをしてほしい。緊急車両の通る道路などは我々も知っておくべきことだと思う。皆さんが感じているように情報発信が大事だと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 学区の中でも災害に関する話は出るが、実際に名古屋市で災害が起きた場合は、南の方面に被害が多発し、消防・救急車がそちらへ向かい、名東区の方へ来るのは難しいのではないかという話を聞いたことがあり、自分たちで何とかしなければいけないと考えている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 警察や消防の方も災害の大きいところに集中するため、自分たちでできることは自分でやるのが大切だと思う。
	そこで自分たちでやるのが難しい場合に警察や消防にお願いして救助にあたってもらう考え方も必要であると思う。
9 答申	
(1) 名東区内で考えうる被害を想定し、必要な資機材や備蓄等を準備し災害	
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨			
に備えてほしい。	(2) 災害時に必要な情報を集め、多くの方に発信するための広報活動の強化		
10 その他	次回開催予定は、令和6年5月頃とする。		
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="967 1955 1129 2018">記録者</td> <td data-bbox="1129 1955 1428 2018">警務係長</td> </tr> </table>	記録者	警務係長
記録者	警務係長		